

モニタリング結果報告書

施設 : 県立葉山公園・県立はやま三ヶ岡山緑地
 指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会
 施設所管 : 横須賀土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	12月13日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
11月	12月10日	1月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
12月	1月7日	2月16日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
1月	2月8日	3月15日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
2月	3月17日	4月28日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認
3月	4月8日	5月17日	現地確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

- ①海辺に自然観察会やバードウォッチング等の開催
- ②スタンプラリー（葉山公園1箇所、はやま三ヶ岡山緑地4箇所のスタンプポイントを設けた。）
- ③ビーチフラッグ大会
- ④園内清掃ボランティア

<実施状況>

- ①観察会を5/22、6/22、9/4の3回実施した。毎回20から30人程度の参加者がいた。25%程度がリピーターとして参加される方がいた。
- ②10/20～12/10日の期間開催した。多くの参加者が見込まれ450枚のスタンプ用紙と、内80人の景品(花の種)応募があった。今後、新たな来園者の参加が見込まれる。
- ③同様の大会を民間の持込みイベント「洋之介ファンフェスタ」9/4日開催について、公園協会は後援としてイベントに携わった。
 内容としては、シーカヤックや古代船の乗船体験(子供と父兄)・海難模擬訓練・乗馬体験(500円)・フラダンス(大人や子供)・地元の物産販売等行った。
- ④10/30日に民間イベントと協調して実施予定であったが台風の来襲により中止となった。

(継続用紙)

< 提案内容の概要（今後実施予定のもの） >

- ・地域の連携による公園の魅力アップ事業

園内で展開するボランティア活動を立ち上げ、平成 22 年度以降の実施に向け、実施手法等や検討を進めていき、花壇等県民参加型の管理運営を確立していく。

- ①花壇管理ボランティア
- ②園内清掃ボランティア

< 実施状況（今後実施予定のもの） >

- ①花壇管理ボランティア

平成 22 年度は、開花後のチューリップの球根配布等で地元との連携や一体化に努めている。平成 23 年度は、ボランティア活動導入に向け、受け入れ体制の整備を進めていく。

- ②園内清掃ボランティア

平成 22 年度は、幼稚園等の公園利用時の後片付け等を父兄に依頼等準備を進めた。また、平成 23 年度は、地元観光協会へのアプローチを検討していく。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)			その他収入 =駐車場収入 (前年同月料金額)
年間予算額	26,100	14,000		12,100	26,100	0
上半期計 (a)	13,937	4,024		9,913 (9,460)	12,213	1,724
下半期計 (b)	11,018	9,976		1,042 (1,041)	13,354	△2,336
10月	571	-		571 (559)	2,039	△1,468
11月	1,598	1,127		471 (482)	1,609	△11
12月	4,705	4,705		(-)	2,018	2,687
1月	1,309	1,309		(-)	1,466	△157
2月	1,341	1,341		(-)	4,732	△3,391
3月	1,494	1,494		(-)	1,490	4
合計 (a+b)	24,955	14,000		10,955 (10,501)	25,569	△614

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

12月～3月の期間は現在、駐車場料金が無料であるため、この期間の駐車場事業収入はない。
 年間の収支計画については、ほぼ計画通り行った。10月については、老朽化した施設の修理に費用を要したため、支出増となった。具体的には「浄化槽の臭気抜き煙突」や三ヶ岡山緑地の管路用「モノレール」の修理等を行った。2月については、当初12月に予定していた、駐車場使用料や利用促進の自然観察会講師委託等を支払ったことにより、支出増となった。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	「特になし」	
支出の状況	「特になし」	
積立等の状況	「特になし」	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

葉山公園	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	91,545 人	95,676 人	△4.3%
下半期計 (b)	48,445 人	53,455 人	△9.4%
10月	10,790 人	12,980 人	△16.9%
11月	8,920 人	8,600 人	3.7%
12月	8,090 人	8,010 人	1.0%
1月	7,660 人	8,965 人	△14.6%
2月	6,955 人	6,470 人	7.5%
3月	6,030 人	8,430 人	△28.5%
合計(a+b)	139,990 人	149,131 人	△6.1%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 ・10月と1月の減少原因としては、休日の雨情報により海浜利用者等の減少による。
 ・3月の大幅減少は、東日本大震災によりマリンスポーツ愛好家の自粛や幼児等の遠足が中止になったことが原因だと考えられる。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月						
月						
月						
月						
月						
月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・「特になし」	
職員対応	・「特になし」	
事業内容	・「特になし」	
その他	・「特になし」	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	「特になし」
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

公園管理において、園内清掃や花壇の手入れ・設備の点検修理等を頻繁に行い、園内環境の向上に努めている。利用促進については、自然観察会やスタンプラリー等により新たな来園者を生み出すと共に、海浜利用者の持込みイベント等により秩序ある利用者の増加を図っている。なお、3月に発生した東日本大震災により海が怖いとの極端な認識が生まれ、公園利用者が激減したことにより、駐車場収入の大幅減が予想されるため、より一層の来園者のためのPRやイベントの工夫をしていく。

施設所管課

日頃から、園内の清掃・管理が行き届いており、適正に管理されている。
海風により浸食された竹柵の設置・補修や遊具点検等、日頃から来園者が過ごしやすい環境を整えている。
海岸側のハマナス園には多種の海浜植物の植栽を実施。秋に咲くソナレマツムシソウや夏に咲くハマゴウ等の育成・保護を行い、経過を観察している。
夏に限らず、年間を通してマリンスポーツを楽しむ利用者が多くいる。利用者や駐車場収入の減収が懸念されるが、継続的にバーベキュー禁止・火気厳禁等、マナー向上の指導を行う必要がある。

4 利用状況

はやま三ヶ岡山緑地	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	5,899 人	5,682 人	3.8%
下半期計 (b)	4,673 人	4,046 人	15.5%
10月	780 人	730 人	6.8%
11月	1,045 人	553 人	89.0%
12月	785 人	710 人	10.6%
1月	770 人	610 人	26.2%
2月	640 人	700 人	△8.6%
3月	653 人	743 人	△12.1%
合計 (a+b)	10,572 人	9,728 人	8.7%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔・11月・12月・1月の大幅増は、園路(階段)整備完了・景観広報(協会HP)・スタンプラリー等による来園者増が実現した。(「歩け歩け協会」の来園含む)〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月						
12月		1				
1月						
2月						
3月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・園内周辺部住民から剪定の要望 ・	早急に剪定処理を行った。
職員対応	・「特になし」 ・	
事業内容	・「特になし」 ・	
その他	・「特になし」 ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	「特になし」
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		「特になし」	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

園路の除草や周辺部の剪定による眺望確保等により「歩け歩け協会」等のウォーキンググループ等に認められ、来園者が増加傾向にある。また、県の整備工事により園路(階段)や展望台が改修されたので、地元幼稚園や小学校に利用促進を呼び掛けると共に、利用者の増加を図るべく今後もスタンプラリーや自然観察会等の企画を実施して行きたい。

施設所管課

はやま三ヶ岡山緑地・葉山公園両公園ではスタンプラリーを実施した。期間は10月中旬から2ヶ月で行われ、スタンプ台や準備等は指定管理者が手作りで作成し、多くの方が参加。展望デッキは一時使用禁止となったが県土木で改修が完了。一部を除く、真名瀬コースの老朽化の著しい箇所についても県土木で補修も完了し、来園者の安全を確保している。継続的に老朽化した施設の補修や修繕を行う必要がある。
園内のパトロールは日頃から実施し、高木や枯損木の処理等を行っている。また、火気注意看板・案内板設置等、注意喚起を再度徹底している。今後は、地元団体やボランティアに利用促進を呼び掛け、県民参加型の運営を確立することである。